

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして
みんなが
住んでよかつた
と思える川西市に...

たんぽぽだより
日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市会議員団控え室 TEL 740-1111 (内線4020)
直通FAX 759-1811
黒田みち事務所 TEL 795-4760
たんぽぽだよりブログ
http://kurodemich.exblog.jp



命を守れ！ 関電神戸支店前のうねり 神戸でも「金曜デモ」 「原発なくせ！こどもを守れ！大人が守れ！」



福島原発事故の原因究明もできず、まだ故郷に帰れない人々がたくさんいるのに、浪江の方の「我々

8月10日(金)には、ユーチューブの実況、チに責任も取れない夕方6時から神戸・三宮、ラシ配り、訴え、楽器の演のになぜ大飯原発の集会が行われた。全国会社帰りのサラリーマン各地に広がる「金曜デモ」も学生さんもみんな「原発の神戸版だ。あちらこちら再稼働やめて」「原発ゼロを増税できるのか」から人々が集まり、若者がにしての1点で声をあとの叫びをしつかり「原発なくせ」「こどもを守れ、その声は日増しに大き」と受け止め行動したい。

川西市から80kmの「原発なくせ」の声が大飯原発。まともな安全対策もないまま(*1)の再稼働強行を許しているカードにして、Tシャツに「電力は足りて載せて、靴の中から音の出ている。足りてないのは愛情だ」と書かれたプラカードに元気をもらおう。

「足りてないのは愛情だ」
再稼働勢力 追いつめよう

あつという間に1000人を超え、奏でる願いが夕焼け空を駆けていく。

「原発再稼働やめろ！」の国民多数の声を「大きな音」といい、猛反対を押し切った野田総理。全国で「再稼働反対・原発ゼロ」の声が広がり続け、再稼働容認勢力を追い詰めている。

広島・長崎への爆投下と終戦から67年。福島原子力発電所放射能事故からもうすぐ1年半。夏は「平和・いのち」にこだわる催しが多く開かれ、私(黒田)もエネルギーの充電を兼ね、いくつかに参加した。

絶対に忘れない 伝えていこう 福島被災地の視察報告会

川西市市議会議員団は福島などの被災地視察報告会を8月2日、土谷コミュニティホールで午後と夜の2回行いました。7月11日から3日間、福島県、福島市南相馬市の現地を視察した模様を、映像を交えて紹介・報告しながら、懇談しました。



報告後の懇談では、「まだ、こんな状況なのか。」と驚きの声。「事故のことをもつとしっかり伝えていかなければならない。」「改めて原発の恐ろしさを感じた。」など様々な声と共に、がれきの広域処理と放射能の影響や食べ物の安全など私達の身近な問題にも話題が広がり、福島の事故を絶対に忘れず、この教訓を生かしていく努力をしていかなければならないことなどを再確認しあいました。(報告会のご要望があれば、開催しますのでお気軽にお申し出下さい。)



海沿い、海抜わずか2メートル

ベントも免震棟もなし これで安全!?

大飯原発で先送りされている安全対策

事故が起きたとき、国が「特別監視体制」をおくオフサイトセンター(福島県おおい町、大飯原発から約7kmの位置)

- 水素除去装置 2014年3月 予定
- 防漏堤かさあげ 2014年3月 予定
- フィルター付ベント 2016年3月 予定
- 免震事務棟 2016年3月 予定

命最優先の声 大きく・広く つながろう!

タービン 蒸気発生器 海水ポンプ 原子炉 (*1)

黒豆の声

神戸で開かれた「第44回全国保育団体合同研究集会」に娘夫婦と出かけた。

オープニングは舞台一杯、300人のこどもの合唱。全身全霊で仲間と歌う姿に思わず目が潤む。働くお母さん達が「働き続けられるように」「こども達に豊かな子育て環境を」「同じ想いで苦しむ親をつくらぬように」とはじまった保育運動。私の娘達がお世話になった保育園も、最初はひとりのお母さんが、預ける所がなく困っている親たちのこどもを自宅で預かる家庭保育所からのスタートだった。以後、もっともつとこども達が安心して過ごすことができる環境をと、保育園の新設や認可運動、学童保育の実現にと関わってきた。

愚痴を愚痴で終わらせず、困っていることを要求に。未来をつくる仲間として、命にこだわり、人間らしさを追求し・・・つながっていきこう。

1日目の最後は、高砂高校ジャズバンドの演奏(映画スウィングガールのモデル)。

「私が大人になってこどもを産んだら、よろしくお願ひします。」と笑顔で元気な高校生の挨拶に会場は割れんばかりの拍手を送った。

この国の未来を
しっかり築いていこう!

消費税大増税の実施許すな

民自公が法案成立を強行

消費税増税法案が10日、参院本会議で、民自公3党などの賛成多数で強行可決、成立しました。自公を除く日本共産党など野党7党・会派は民意と公約に背く暴挙だとして反対しました。国会では「消費税大増税許すな」と多くの人々が怒りの行動で声を上げました。増税実施は2年後の2014年4月から税率8%に、15年10月に10%の予定です。日本共産党の志位和夫委員長は「たたかいはこれから。消費税大増税の実施を許すな」のたたかいを発展させよう」と呼びかけました。

たたかいはこれから

志位委員長が会見

日本共産党の志位和夫委員長は10日、消費税増税法案成立後に国会内で記者会見し、次のように語りました。



日本共産党

一、増税勢力は、国会では多数派かもしれませんが、国民のなかでは少数派です。どんな世論調査でも、国民の過半数は消費税増税に反対と答えています。国民多数の民意を踏みつけて、密室談合で消費税増税法案を強行した民自公増税連合の暴挙に強く抗議するものです。

一、増税法案は強行されましたが、実施は2014年の4月からです。大増税に反対する国民の声は、その実施が迫れば迫るほど高まるでしょう。たたかいはこれからです。「消費税大増税の実施を許すな」この旗を掲げて国民的なたたかいを発展させることをよびかけます。

一、2014年4月までには、必ず衆院選、参院選がたたかわれます。来るべき国政選挙で、民自公増税連合にきびしい審判をくだすことをよびかけます。

同時に、国政選挙では、どの党ののびれば、消費税



増税3党に70億円

ウルシ・ヒロ

新しい視点 展望しめす
しんぶん 赤旗
 日刊紙●月3,400円
 日曜版●月 800円
 お申し込みは
 黒田みちまで
 (TEL&FAX 790-3055)

増税を阻止する一番の力になるかが、問われることになり。

日本共産党は、政治の姿勢を根本から変えれば、消費税に頼らなくても、社会保障を充実し、財政危機打開をはかることは可能であることを、具体的に明らかにした「提言」を示しています。

増税を阻止する一番の力になるかが、問われることになり。消費増税に頼らない別の道がある—この責任ある対案を掲げる日本共産党ののびすことが、増税阻止の一番の力になることを訴えて、選挙戦での躍進を果したいと思えます。

廃止しかない



ジャーナリスト

斎藤 貴男さん

消費税増税は、地域社会、日本経済を破壊させかねない多くの問題点をもつのに、野田政権と民主、自民、公明3党は一切、聞く耳を持たずに押し通しました。こんなものが「政治」といえるのか。彼らに政治家を名乗ってほしくありません。

増税分を無駄なコンクリート事



立正大学法学部客員教授・税理士

浦野 広明さん

民主・自民・公明3党は密室協議

のうえ消費税増税法案を成立させました。民主は消費税増税をしないと公約し政権につきました。この公約を破ることに政治生命をかけた野田首相は「罪人」(詐欺罪)です。3党は共同正犯に成り下がりました。

公約違反について、有権者が厳し

俺たち奴隷じゃない

業に流し込む意図も明らかになっています。「社会保障との一体改革」でもなんでもない、庶民の稼ぎを吸い上げて、財界・大企業が分捕るための増税でしかないということですよ。

財界・大企業いなるの政治をなんとかしなければ、多国籍企業の利益と一致しない人間は収奪されるだけではないのか、と思えます。

法案は通っても、実施をたたきつぶすことはできます。増税に賛成、加担した議員を一人も当選させないという有権者の判断を求めたいし、選挙に限らずあらゆる手を使って消費税増税をやめさせたい。「おれたちは黙って従う奴隷じゃないぞ」と示さなければなりません。

打開 私たちの手で

く追及しなければ政治は変わりません。政治家の悪い体質を変えられるかどうかは、私たち一人ひとりの努力にかかっています。

消費税増税や社会保障の切り捨ては、労働者、中小事業主、年金者、庶民の生活を根こそぎ破壊します。

この困難は耐え忍ぶだけでは打開できません。打開の道は労働者などの階層的利益の代弁者を国会に送り込むことを片時も忘れないことです。民主的な制度は自然にやってくるものではなく自分の手でつかみ取るものです。これこそ憲法13条の「幸福追求に対する国民の権利」です。

消費税増税の実施は2014年からです。次のたたかいは2014年までに「消費税増税中止法」を成立させるための不断の努力です。